HCCJP 第63回勉強会 ハイブリッドクラウド研究 会

2025年7月11日(金)14:00開始



本日のテーマ

- Claude Code×Azure
- Gemini CLI×Azure
- Microsoft "Adaptive Cloud" 最新動向
- Azure Arc対応Kubernetes拡張機能 "Edge RAG"

₹ 自己紹介

胡田 昌彦(えびすだ まさひこ)

- 現在の活動
 - YouTubeに注力中! → https://youtube.com/@ebibibi
- ₹ 資格・認定
 - Microsoft MVP for Azure Hybrid & Windows Server (ダブル受賞)
- □ 著書
 - •「Windowsインフラ管理者入門」 著者
- 趣味
 - ベース、ドラム、セッション



空 このスライドについて

生成AIで作成しました!

使用技術

- Claude スライド内容の生成
- Marp Markdownベースのプレゼンテーション
- VS Code 統合開発環境

今日のテーマにぴったり!生成AIの実践例です

タイムテーブル

時刻	時間	セッション	スピーカー
14:00	5分	オープニング	胡田 昌彦
14:05	20分	【前半】Claude Code×Azure, Gemini CLI×Azure	胡田昌彦
14:25	20分	Microsoft "Adaptive Cloud" Updates	高添 修 氏
14:45	20分	Azure Arc対応 K8s拡張機能 "Edge RAG"	胡田 昌彦
15:05	10分	【後半】Claude Code×Azure, Gemini CLI×Azure	胡田昌彦
15:15	10分	Q&A	全員
15:25	5分	クロージング	胡田昌彦

オープニング

司会:胡田 昌彦

日本ビジネスシステムズ株式会社 Microsoft MVP for Azure Hybrid, Windows Server



HCCJPとは

ハイブリッドクラウド研究会

- 毎月第2金曜日 14時から開催
- Azure + 生成AI関連の最新情報をお届け
- オンライン配信(YouTube HCCJPチャンネル)



https://www.youtube.com/channel/UCrf4bEl7yJnkG Yo3F67gA7w



本日の注意事項

- 配信は録画されています → アーカイブでもいつでも見られます!
- サヤットでの質問大歓迎!
- V Q&Aセッションで匿名質問も可能!

質問方法

- Slidoで匿名質問ができます!
- **匿名で質問可能** お気軽にどうぞ!
- **いつでも質問OK** セッション中でも遠慮なく
- 疑問点はすぐに 思いついたらすぐ投稿

■ Slidoの使い方

- 1. QRコードまたはURLからアクセス
- 2. 質問を入力して送信
- 3. 他の方の質問に「いいね」も可能

セッション中、疑問点があればいつでも質問してください!

セッション①【前半】

Claude Code × Azure, Gemini CLI × Azure

スピーカー:胡田 昌彦

日本ビジネスシステムズ株式会社 Microsoft MVP for Azure Hybrid, Windows Server

⑤ 14:05 - 14:25 (20分)

セッション①について

- ◎ 本セッションのポイント
- 話題沸騰中のClaude CodeとGemini CLI
- Azure環境構築のTipsと実演
- 無料でも実現可能!

コンソールベースの生成AIでまるで魔法のような体験を!



② なぜCLIツールを選ぶのか?

GUI vs CLI AIコーディングエージェント

ツール	タイプ	料金
Cline	VS Code拡張	無料(API料金別)
GitHub Copilot	VS Code統合	無料~
Cursor	専用エディタ	無料~
Claude Code	CLI	月額\$20~
Gemini CLI	CLI	無料~



- 自動化しやすい スクリプトやCIに組み込み可能
- 軽量・高速 GUIのオーバーヘッドなし / 「VSCodeのやり方」で失敗すること無し
- 柔軟性が高い 任意のエディタと併用可能

VS Claude Code vs Gemini CLI

主な違い

項目	Claude Code	Gemini CLI
料金	有料(月額\$20)	無料でも利用可能
環境	Linux / WindowsはWSLを使う等	Windowsで直接動作
セットアップ	複雑(DNS設定等)	シンプル
モデル	Claude Opus 4/Sonnet 4	Gemini 2.5 Pro/Flash
コード生成	非常に高品質(※主観)	高品質(※主観)
MCP対応		

唆 選び方のポイント

- 無料で試したい → Gemini CLI
- WSL設定が面倒 → Gemini CLI
- 現時点で最強のものが使いたい → Claude Code

≛ Step 1: インストール

Claude Codeのインストール (Windows WSL版)

```
# WSL2のセットアップ(未インストールの場合)
wsl --install

# WSL内でNode.jsをインストール
curl -fsSL https://deb.nodesource.com/setup_lts.x | sudo -E bash -
sudo apt-get install -y nodejs

# Claude Codeをインストール
npm install -g @anthropic-ai/claude-code #おそらく権限のエラーが出ます
```

Claude Codeのインストール(Windows WSL版ではこちらを個人的に推奨)

```
# First, save a list of your existing global packages for later migration
npm list -g --depth=0 > ~/npm-global-packages.txt
# Create a directory for your global packages
mkdir -p ~/.npm-global
npm config set prefix ~/.npm-global
# Note: Replace ~/.bashrc with ~/.zshrc, ~/.profile, or other appropriate file for your shell
echo 'export PATH=~/.npm-global/bin:$PATH' >> ~/.bashrc
# Apply the new PATH setting
source ~/.bashrc
# Now reinstall Claude Code in the new location
npm install -q @anthropic-ai/claude-code
# Optional: Reinstall your previous global packages in the new location
# Look at ~/npm-global-packages.txt and install packages you want to keep
```

▲ 重要!WSL環境でClaude Codeがオフラインになる問題

- WSLでClaude Codeがすぐにofflineになる場合の解決方法
- 1. WSL設定ファイルの編集

```
# /etc/wsl.conf に以下を追加
[network]
generateResolvConf = false
```

2. WSLを再起動

```
wsl --shutdown
# その後、WSLを再度起動
```

3. DNS設定を手動で追加

```
# /etc/resolv.conf に適切なDNSサーバーを設定
echo "nameserver 8.8.8.8" | sudo tee /etc/resolv.conf
```

学 詳細はこちら → https://note.com/ebibibi/n/n211c76198608

■ WSLとWindowsの連携

VSCodeとWSLの連携

■ Windows側のプロジェクトフォルダへのアクセス

Windows側のCドライブにアクセスする場合 cd /mnt/c

★ パフォーマンスのために

- プロジェクトファイルはWSL側(~/projects/など)に配置推奨
- Windows側のファイルアクセスは信じられないくらい遅い

Gemini CLIのインストール

```
# あらかじめNode.js (+npm) をインストール(インストーラーで「次へ」と進めるだけでよい) # npmでインストール npm install -g @google/generative-ai-cli
```

- Claude Codeと比べると超簡単! **→ ∅**
- googleアカウントは必要です

動画も参考にどうぞ!

☆ Claude CodeをWindowsにインストールする方法!



Gemini CLI: Google最強AIが今だけ無料で使える!



☆ Step 2: 基本設定

▼ CLAUDE.mdの作成

- 起動時に自動的に読み込む設定ファイル
- 既存レポジトリなら /init を実行すれば素敵なものが自動作成される

CLAUDE.mdの例

- # 必ず守るべき重要な指示
- 日本語で応答すること
- 必ずMicrosoft Learn MCPを参照してから実装すること
- 初回には必ず design.md, progress.md を読み現在の状況を把握すること
- 進捗は progress.md に記載すること

■ gemini.mdの作成

- 役割はCLAUDE.mdと一緒です。
- /init コマンド的なものは現時点ではなさそうです。

他にも山ほどTipsはあります

多すぎる & みんな試行錯誤中なので、今日は記事紹介のみとしておきます。(時間がない!)

- 速習 Claude Code
- 実務で使っているClaude Codeの開発環境の紹介
- Claude Codeにコマンド一発でMCPサーバを簡単設定
- <u>テストから始めるAgentic Coding 〜Claude Codeと共に行うTDD〜</u> / <u>Agentic Coding starts with testing - Speaker Deck</u>

Ø Step 3: Microsoft Learn MCP連携

- 必須ではないですけど超お勧めです!
- MCP連携の設定場所は複数あります。下記はプロジェクトレベルの例。

Claude Code

```
claude mcp add microsoft_learn_mcp -s project -t http https://learn.microsoft.com/
```

Gemini CLI

• .gemini/settings.jsonに下記を記載

```
{
   "mcpServers": {
      "microsoft_learn_mcp": {
        "type": "http",
      "url": "https://learn.microsoft.com/"
      }
   }
}
```

• ただし、Gemini CLIはMCP経由ではLearnの記事を読みにいってくれない。(自力で検索しちゃう)

📋 Step 4: Azureへの操作はやっぱり既存ツール群

• 今さらですが…。結局devcontainerを作ってしまうのも楽だと思います。

```
# Install Azure CLI
curl -sL https://packages.microsoft.com/keys/microsoft.asc | gpg --dearmor > /etc/apt/trusted.gpg.d/microsoft.gpg && \
    echo "deb [arch=amd64] https://packages.microsoft.com/repos/azure-cli/ $(lsb_release -cs) main" > /etc/apt/sources.list.d/azure-cli.list && \
    apt-get update && \
    apt-get install -y azure-cli && \
    rm -rf /var/lib/apt/lists/*
# Install PowerShell 7
wget -g "https://packages.microsoft.com/config/debian/$(lsb_release -rs)/packages-microsoft-prod.deb" -O packages-microsoft-prod.deb && \
    dpkg -i packages-microsoft-prod.deb && \
    apt-get update && \
    apt-get install -y powershell && \
    rm packages-microsoft-prod.deb && \
    rm -rf /var/lib/apt/lists/*
# Install Azure PowerShell Module
pwsh -Command "Set-PSRepository -Name 'PSGallery' -InstallationPolicy Trusted; Install-Module -Name Az -Scope AllUsers -Force"
# Install Bicep CLI
curl -Lo bicep https://qithub.com/Azure/bicep/releases/latest/download/bicep-linux-x64 && \
    chmod +x ./bicep && \
    mv ./bicep /usr/local/bin/bicep
```


個人的に推奨のやり方

- まずAIと何をどのような技術要素で実装するのかを相談する。
- 決定事項を design.md にまとめてもらう。
- 実装計画をAIに立ててもらい progress.md に記載してもらう。
- AIに実装を依頼し、progress.md に進捗を記載してもらう。

実際にやってみましょう!

セッション②

Microsoft "Adaptive Cloud" Updates

スピーカー: 高添 修 氏 日本マイクロソフト株式会社

⑤ 14:25 - 14:45 (20分)

セッション③

Azure Arc対応Kubernetes拡張機能

"Edge RAG"

スピーカー:胡田 昌彦

日本ビジネスシステムズ株式会社

Microsoft MVP for Azure Hybrid, Windows Server

⑤ 14:45 - 15:05 (20分)

Edge RAGとは?

Azure Arc対応Kubernetes拡張機能の最新ソリューション

山 概要

- オンプレミスデータに生成AIを適用するRAG (Retrieval Augmented Generation) ソリューション
- Azure Arc対応Kubernetesクラスター上で動作する拡張機能
- **プライベートデータを活用**した生成AI体験をエッジで実現

◎ 主な特徴

- SLM/LLM(小規模/大規模言語モデル) をローカルで実行(CPU/GPU対応)
- エンドツーエンドのデータ取り込みとRAGパイプライン 全情報をオンプレミスに保持
- RBAC (ロールベースアクセス制御) による安全なアクセス管理
- 100以上の言語に対応、テキスト・画像・ドキュメントをサポート(動画も近日対応予定)

△ 活用シーン

- **規制やコンプライアンス**要件でデータをクラウドに出せない業界
- 低遅延が求められるリアルタイム処理
- 大量のローカルデータから洞察を得たい組織

画面を見てみましょう!

環境構築で苦労したこと&Tips!

♠ 何度も失敗するので全てスクリプト化しておくこと!

😊 展開の現実的な課題

失敗の頻度

- 展開には様々な場所で失敗し、何度もVM再作成からやり直した
- おそらく10回以上やり直し
- Nested Hyper-V最高!

💡 強い推奨事項

- 極力自動化することを強く推奨
- PowerShellスクリプト化

検証環境の最終的なスクリプト構成

✓ azurelocal

- 1_Deploy_NFS.ps1
- 1_PrepareAD.ps1
- 2_PrepareVM_phase1.ps1
- 3_PrepareVM_phase2.ps1
- 4_RegisterArc.ps1
- 5_DepolyLogicalNetwork.ps1
- 6_DeployAKS.ps1
- ≥ 7_ConnectAKS.ps1
- 8_CreateAKSNodePool.ps1
- 9_RegisterApp.ps1
- 10_InstallNetworkComponents.ps1
- ≥ 11_DeployEdgeRAG.ps1
- ! aks-arc-kube-config
- EdgeRAG_Setup_Guide.md
- {} EdgeRAG-AppRegistration.json
- **≡** EdgeRAG-deployment-20250626.log
- {} EdgeRAG-deployment-result.json
- ! edgeragdemo.manifest.yaml
- (i) README.md

Active Directory事前準備で入力する認証情報 個人的にわかりにくかったコマンド

New-HciAdObjectsPreCreation -AzureStackLCMUserCredential (Get-Credential) -AsHciOUName "OU=azurelocal,DC=dev1,DC=ebisuda,DC=net



- このADの準備段階で入力するクレデンシャルは azurelocalのnodeの **ローカルの管理者** となるイメージ
- 既存のドメインユーザーを入力するのではないので注意。

▲ AKSクラスタ作成時の注意点

コントロールプレーンIP指定の問題

問題の症状

- Edge RAGの前提条件となるAKSクラスタがコントロールプレーンIPを指定しないと展開できない状況が発生
- 本来はコントロールプレーンIPを指定しなくても展開できるはず

解決方法

• 下記オプションでIPアドレスを明示することで解決

```
az aksarc create \
# その他パラメータ省略
--control-plane-count 1 \
--control-plane-ip 10.1.1.205 \
```

ヺ 備考

- サポートに問い合わせをしたが再現しないため未解決
- しかし、私の環境では何度でも再現した(納得いかん! ※)

Edge RAGの要求スペックが高すぎる問題

■ 必要なVM構成

GPUが使用可能な場合

• Standard_NC8_A2 × 3ノード + Standard_D8s_v3 × 3ノード

CPUのみの場合

• Standard_D8s_v3×6ノード

VM サイズ	GPU	GPU メモリ (GiB)	vCPU	メモリ (GiB)
Standard_NC8_A2	1	16	8	16

VM サイズ	vCPU	メモリ (GB)
Standard_D8s_v3	8	32

合計リソース要求量

🐧 GPU使用時の合計スペック

- vCPU: 48コア (NC8_A2: 24 + D8s_v3: 24)
- メモリ: 120GB (NC8_A2: 24GB + D8s_v3: 96GB)
- vGPU: 3(各16GB GPU メモリ)

■ CPU専用時の合計スペック

- vCPU: 48コア (D8s_v3: 8 × 6ノード)
- メモリ: 192GB (D8s_v3: 32GB × 6ノード)

😅 現実的な課題

可用性、冗長性の観点ではよいが、個人で検証するのはきつすぎる。 外部にLLMを配置する構成なら、1ノードだけでも動作した。

Azure Localでのリソース管理の落とし穴

▲ ノードプール追加時の謎現象

問題の症状

- スペック上はCPU、メモリ、ストレージに余裕がある
- しかし、ノードプール追加時にVHDマウントのためのメモリが不足しているというエラーが発生

學 解決方法

Azure Localホスト (Hyper-Vノード) の再起動

- Hyper-V的にメモリリソースが解放されない状態があった(原因不明)
- 再起動後、リソースが正常に利用可能になった

Edge RAGの現状評価

- プレビュー版の特徴と課題
- →現状の印象
 - プレビューのためまだまだ荒削り
 - リソースが足りない or ギリギリだと様々な問題が発生

▲ 本番を見据えた設計

- 冗長構成が標準で組み込まれている
- 高可用性を前提とした構成になっている
- 障害発生時の対応も考慮された設計

■ リソース要求の現実

- ホストに要求されるリソースはかなり大きい
- 個人検証には厳しいスペック要求
- **しかし開発ゼロで使える**ように構成されているのは良い

ありがとうございました!

セッション①【後半】

Claude Code×Azure, Gemini CLI×Azure

(続き)

スピーカー:胡田 昌彦

日本ビジネスシステムズ株式会社 Microsoft MVP for Azure Hybrid, Windows Server

⑤ 15:05 - 15:15 (10分)

Q&Aセッション

一ご質問をお待ちしています!

- チャットでの質問歓迎
- 匿名での質問も可能
- どんな質問でもOK!

② 15:15 - 15:25 (10分)

次回予告

77 次回は8月9日(金)14:00~

毎月第2金曜日に開催!

YouTubeチャンネル登録をお忘れなく!

https://www.youtube.com/channel/UCrf4bEl7yJnkGYo3F67gA7w



ご参加ありがとうございました!

また来月お会いしましょう!

◎ 本日の資料は後日公開予定

お問い合わせは <u>ebibibi@gmail.com</u> まで

#HCCJP でツイートお願いします!